

第 5 編

費用の実績

第 1 章. 費用の分類.....	113
第 2 章. 財産管理費用	114
2.1 総価契約	114
第 3 章. 施設管理費用	117
3.1 総価契約	117
3.2 単価契約	121
3.3 施設毎の管理費用.....	125

第1章. 費用の分類

調布市では施設管理・財産管理業務の一部を、外部への委託により行っています。

委託については、業務の性質や規模に応じて、総価契約、単価契約いずれかの方法によって発注を行います。

- 【総価契約】：単価・数量及び契約金額（総価額）が確定されたうえで行う契約を「総価契約」といいます。
- 【単価契約】：内容または性質上その数量を確定できない場合に、その規格及び単位あたりの価格だけを決定する契約を「単価契約」といいます。

第2章. 財産管理費用

2.1 総価契約

(1) 財産管理における委託件数の推移

平成28（2016）年度～令和2（2020）年度における年度別委託件数に着目すると、5年間の累計委託件数は40件となっています。

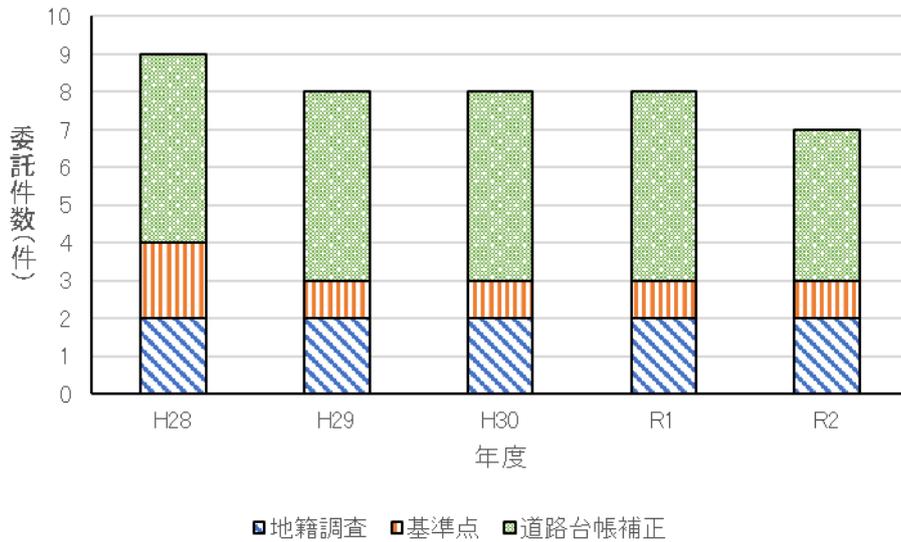


図 5-1 年度別委託件数の推移(財産管理)

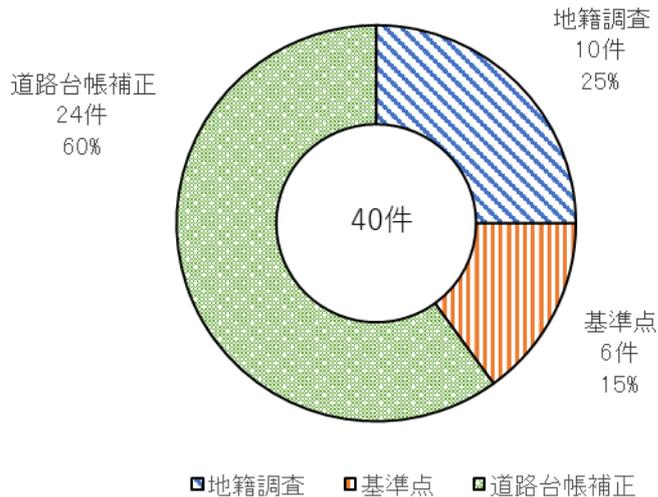


図 5-2 平成28(2016)年度～令和2(2020)年度における累計委託件数の内訳(財産管理)

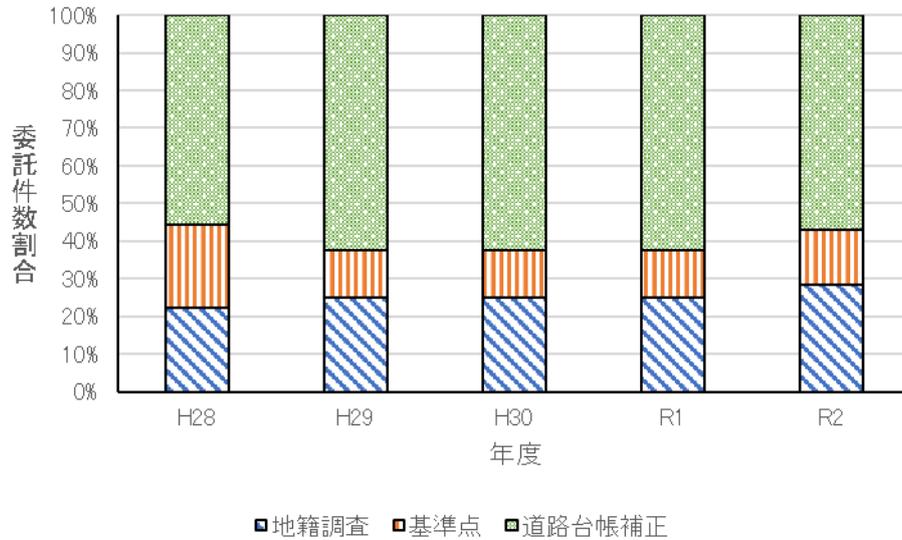


図 5-3 年度別委託件数の割合(財産管理)

(2) 財産管理における委託金額の推移

平成28(2016)年度～令和2(2020)年度における年度別委託金額に着目すると、5年間の累計委託金額は2.4億円となっています。

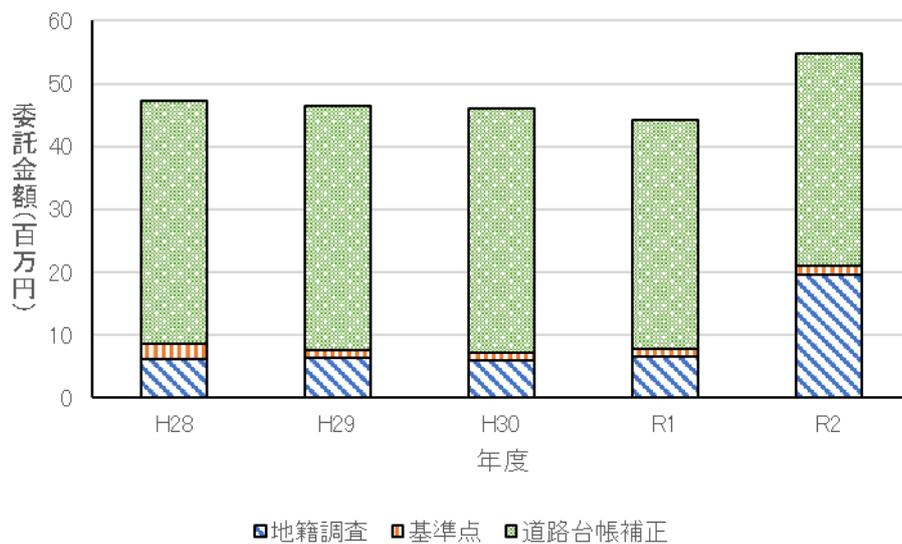


図 5-4 年度別委託金額の推移(財産管理)

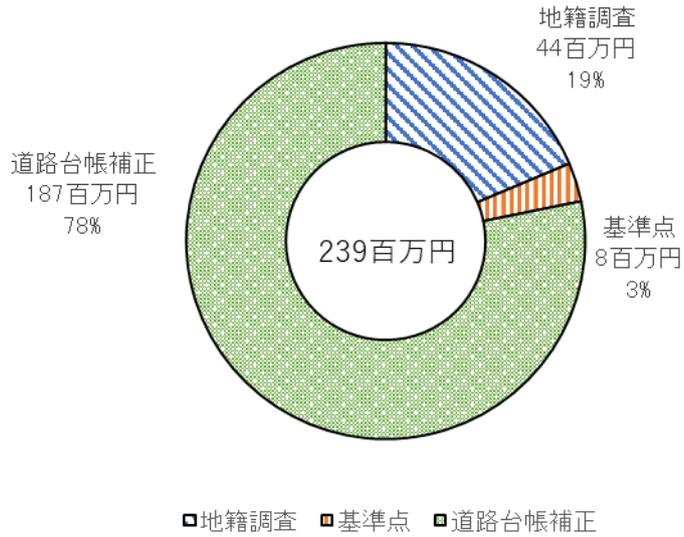


図 5-5 平成 28(2016)年度～令和 2(2020)年度における累計委託金額の内訳(財産管理)

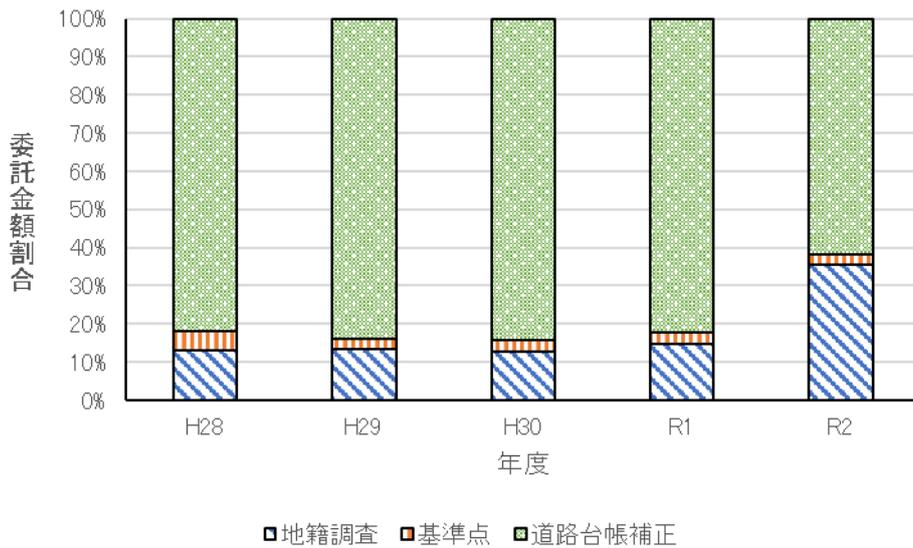


図 5-6 年度別委託金額の割合(財産管理)

第3章. 施設管理費用

3.1 総価契約

(1) 施設管理における総価契約の概要

一定の規模を超える舗装，橋りょう等の補修等の工事については，総価契約で外部に委託しています。

(2) 施設管理における工事件数の推移

平成 28（2016）年度～令和 2（2020）年度における年度別工事件数に着目すると，年平均で 6.6 件の工事を実施しています。5 年間の累計工事件数は 33 件となっており，そのうち舗装が 14 件（43%）と最も多くなっています。

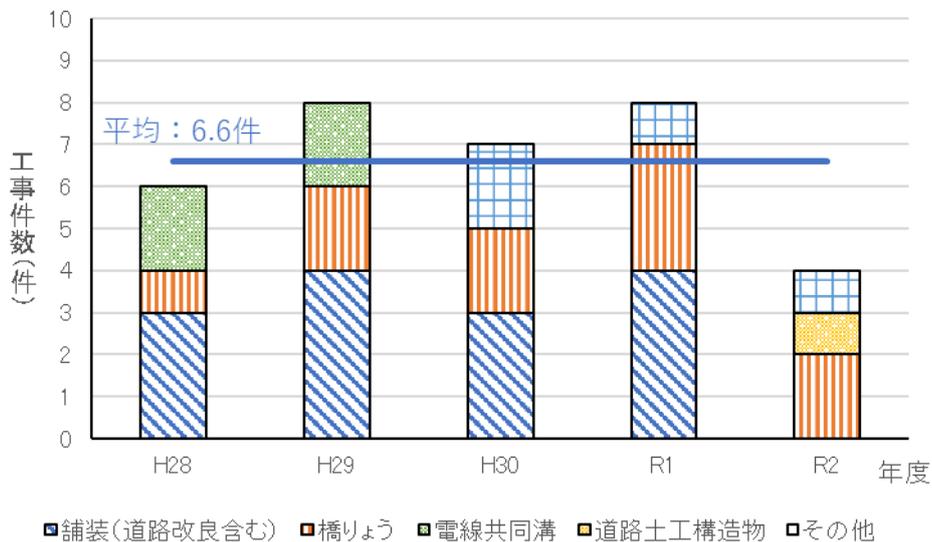


図 5-7 年度別工事件数の推移(対象施設毎)

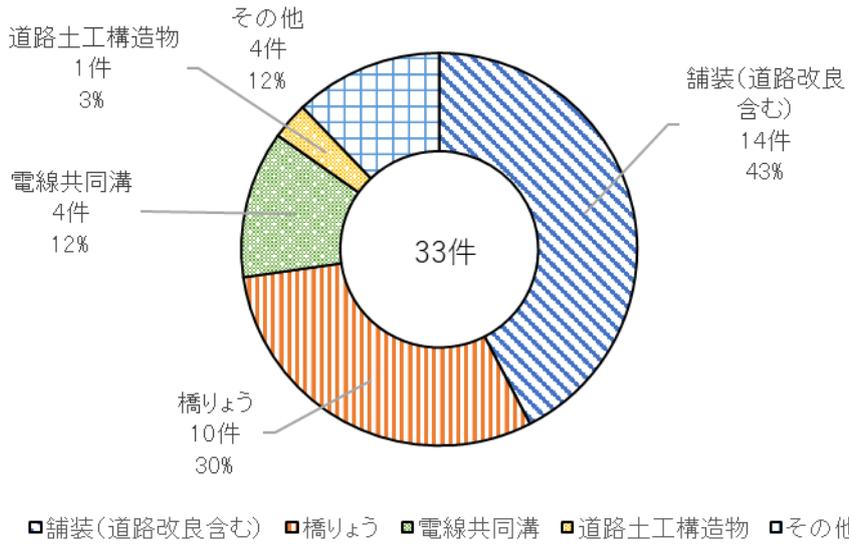


図 5-8 平成 28(2016)年度～令和 2(2020)年度における累計工事件数の内訳

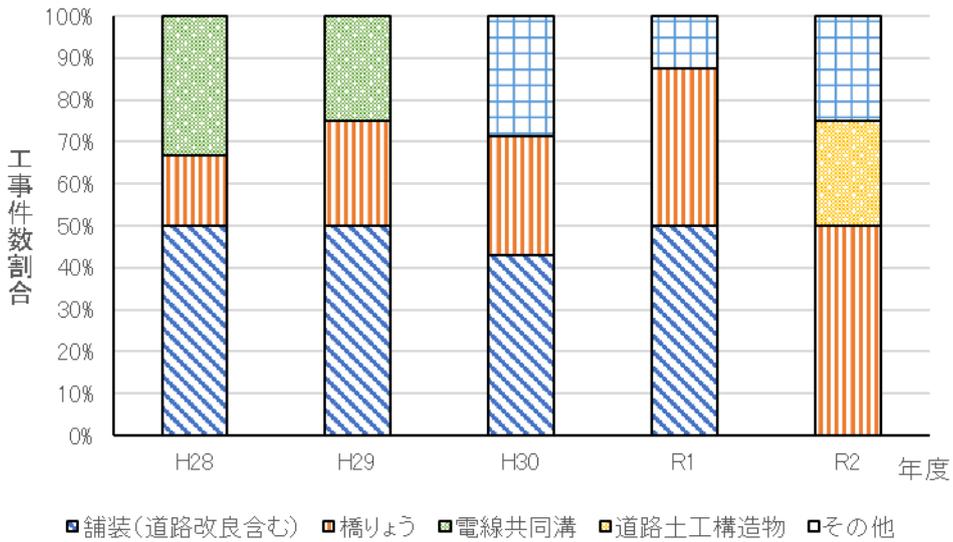


図 5-9 年度別工事件数の割合(対象施設毎)

(3) 施設管理における工事金額の推移

平成 28 (2016) 年度～令和 2 (2020) 年度における年度別工事金額に着目すると、年平均で 4.7 億円となっています。5 年間の累計工事金額は 23.4 億円となっており、そのうち舗装が 11.4 億円 (49%) と最も多くなっています。

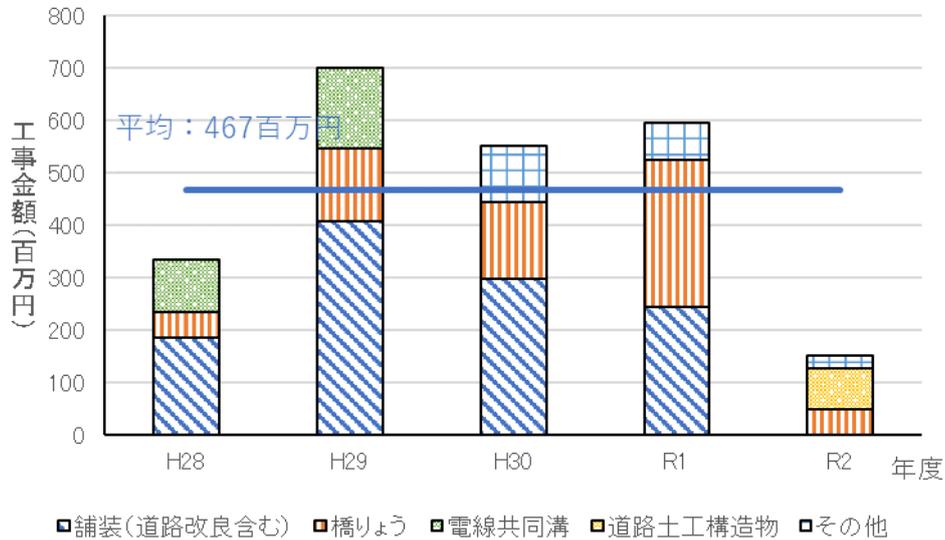


図 5-10 年度別工事金額の推移(対象施設毎)

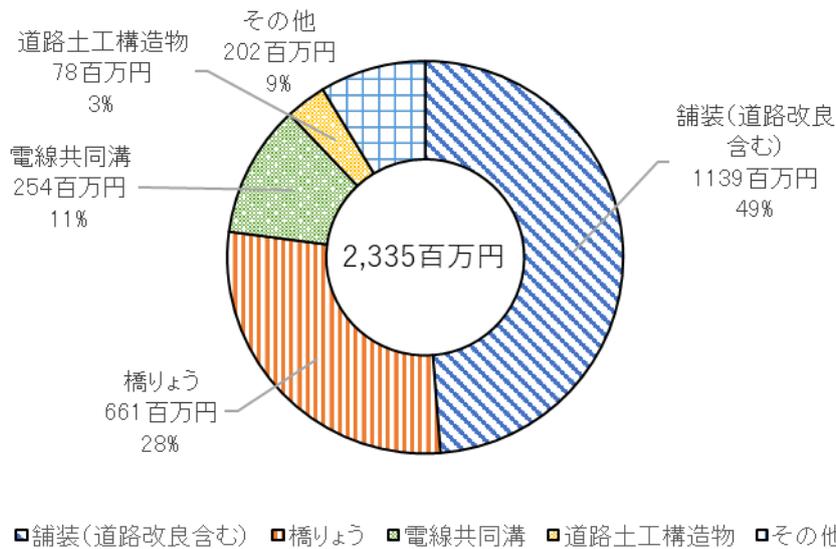


図 5-11 平成 28(2016)年度～令和 2(2020)年度における累計工事金額の内訳

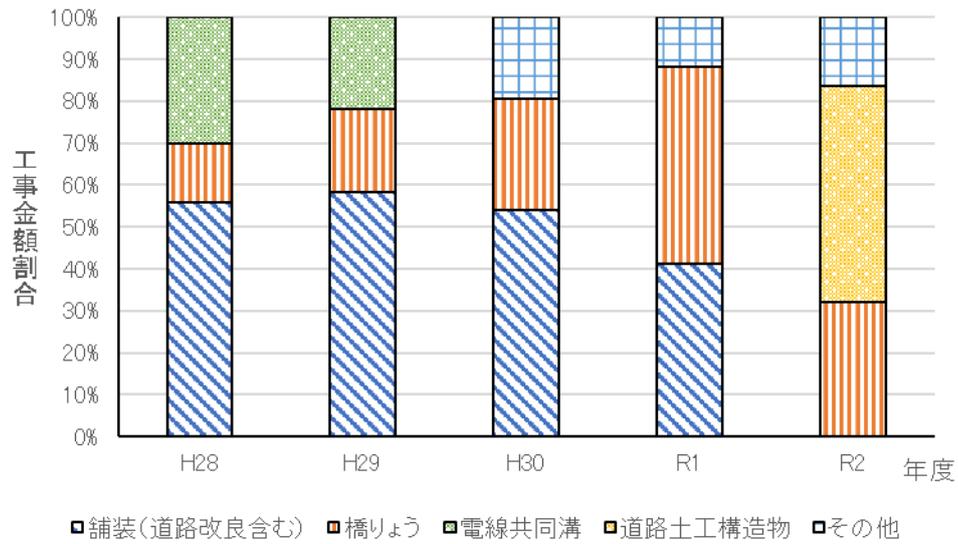


図 5-12 年度別工事金額の割合(対象施設毎)

3.2 単価契約

(1) 施設管理における単価契約の概要

日常パトロールや市民等からの通報等により発見された舗装，街路樹等の小規模な不具合の補修に対しては，単価契約で外部に発注しています。

(2) 施設管理における工事件数の推移

平成 28（2016）～令和 2（2020）年度における年度別工事件数に着目すると，年平均で 2,115 件の工事を実施しており，5 年間の累計では 10,577 件実施しています。

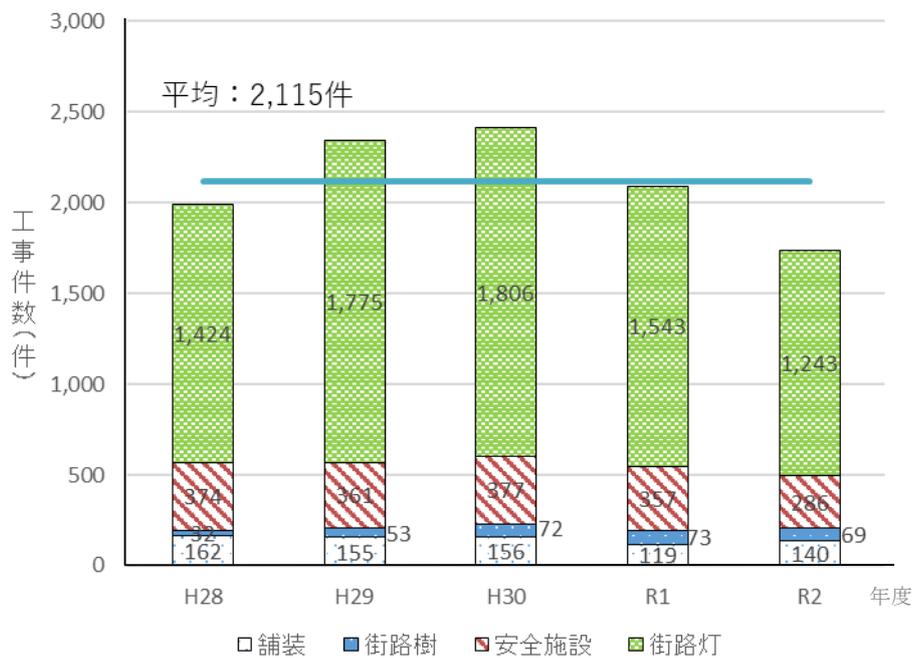


図 5-13 年度別工事件数の推移(対象施設毎)

対象施設毎の割合をみると，例年，街路灯が約 70%と最も多く占めており，次いで安全施設が約 20%，舗装が約 7%，街路樹が約 3%となっています。

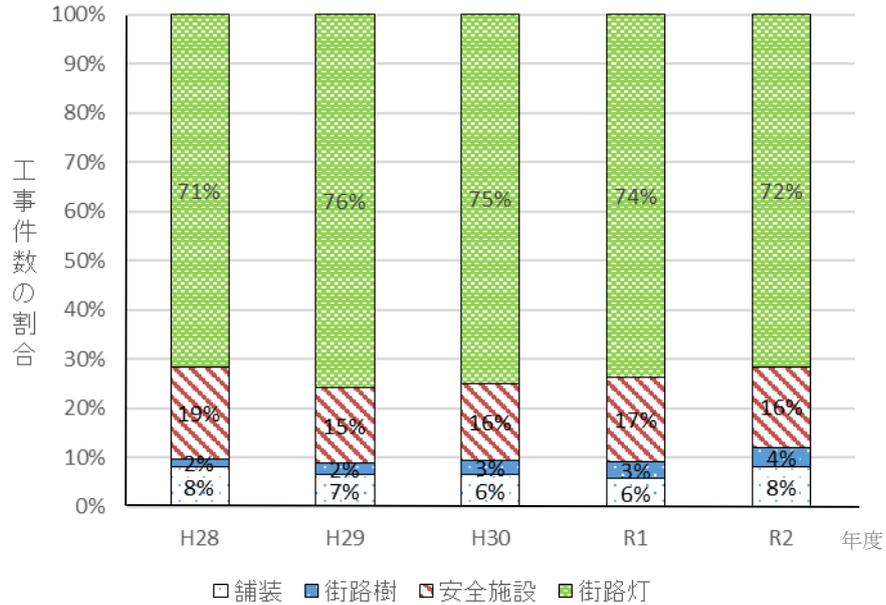


図 5-14 年度別工事件数の割合(対象施設毎)

(3) 施設管理における工事金額の推移

平成 28 (2016) ~令和 2 (2020) 年度における年度別工事金額に着目すると、年平均で 5.2 億円、5 年間の累計では 26.1 億円となっています。

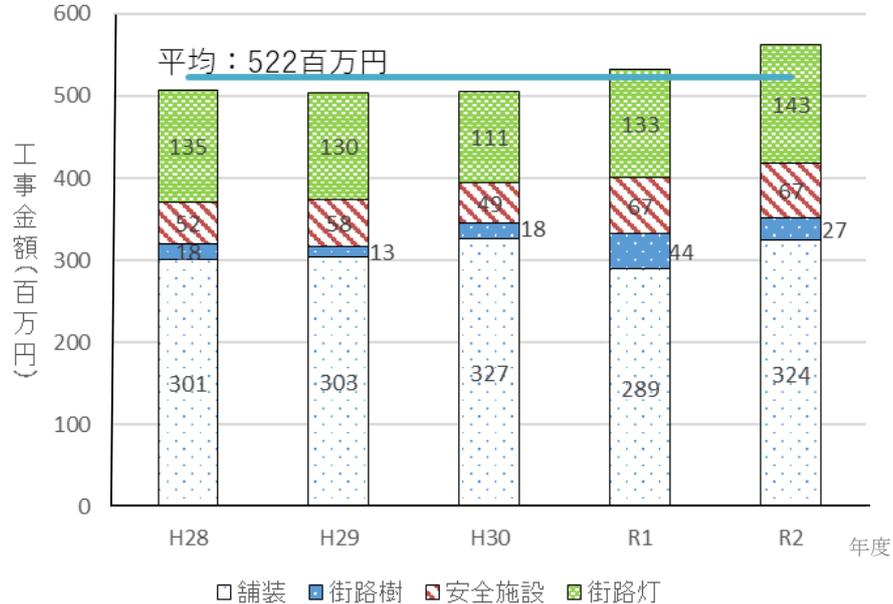


図 5-15 年度別工事金額の推移(対象施設毎)

対象施設毎の割合をみると、例年、舗装が約 60%と最も多く占めており、次いで街路灯が約 25%、安全施設が約 10%、街路樹が約 5%となっています。

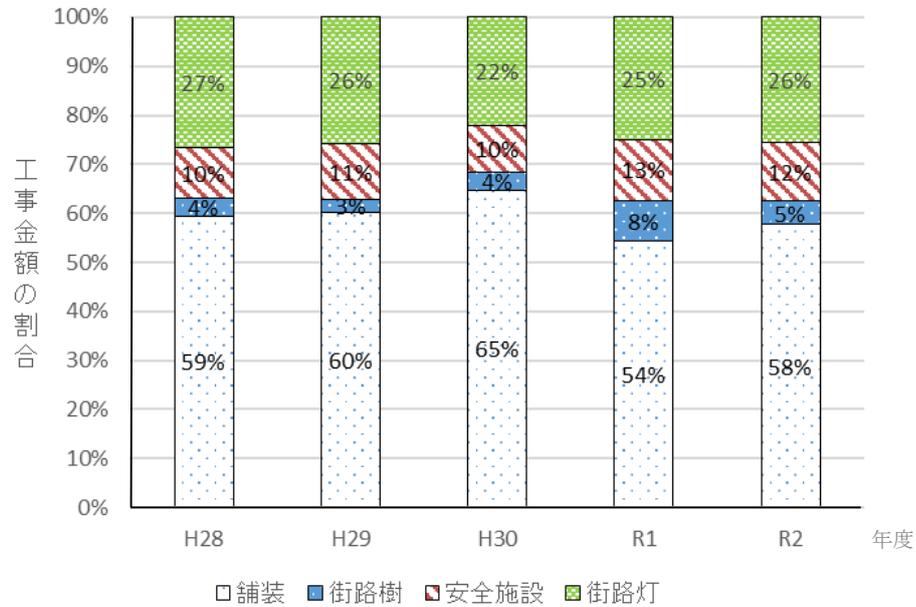


図 5-16 年度別工事金額の割合(対象施設毎)

(4) 除草・清掃における維持管理費の推移

平成 28 (2016) ～令和 2 (2020) 年度における除草・清掃における年度別維持管理費に着目すると、年平均で 1.1 億円、5 年間の累計では 5.4 億円となっています。

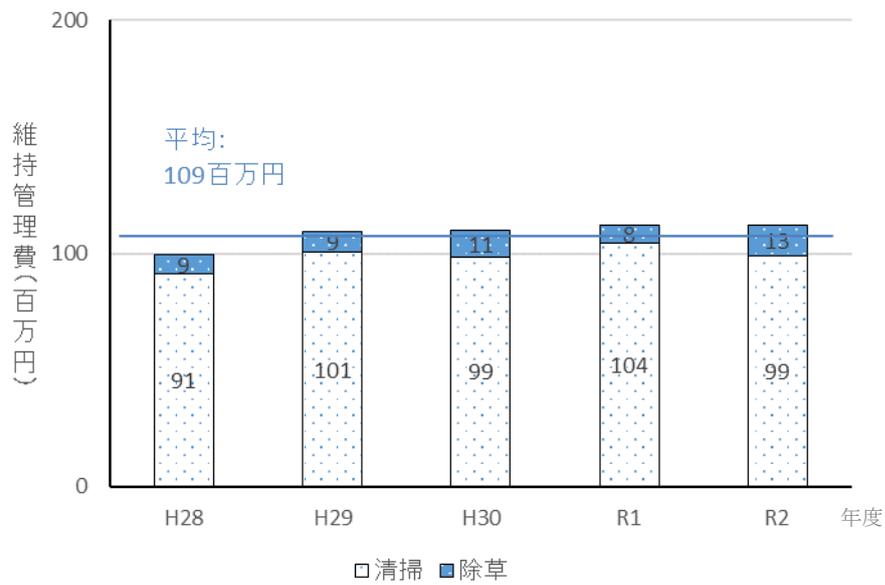


図 5-17 年度別維持管理費の推移(除草・清掃)

除草・清掃の割合をみると、清掃が約 90%、除草が約 10%と清掃が多くを占めています。

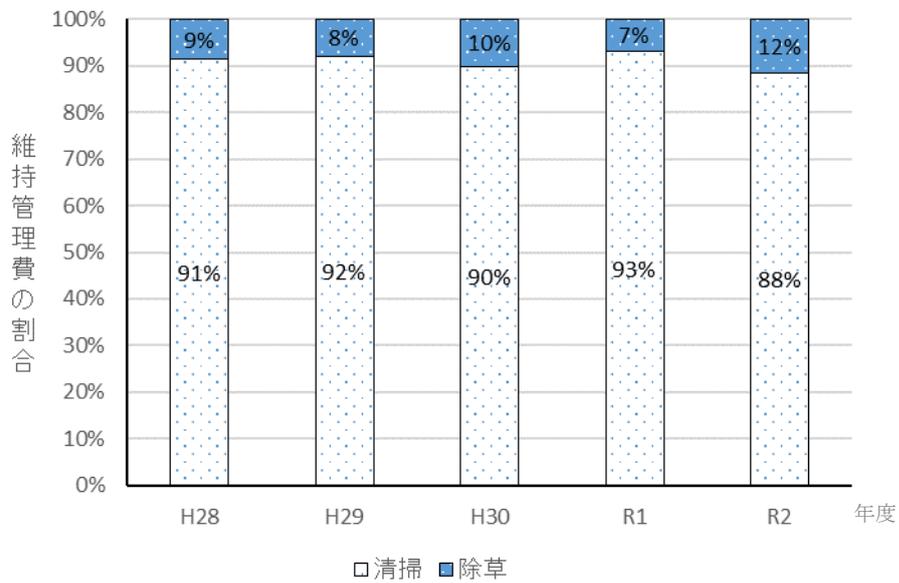


図 5-18 年度別維持管理費の割合(除草・清掃)

3.3 施設毎の管理費用

(1) 舗装

平成 23 (2011) 年度から令和 2 (2020) 年度における舗装の年度別工事件数は、年平均で 3.3 件であり、10 年間の累計工事件数は 33 件、金額は 18.7 億円となっています。

舗装工事の前には路盤の支持力等を把握するために FWD 調査を実施し、この結果を踏まえて修繕方法や規模を設定しており、この調査は 10 年間で 10 件実施しています。舗装設計委託は、工事規模が大きくなるときなど必要に応じて実施しており、10 年間で 33 件となっています。

表 5-1 舗装工事件数と金額

年度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
件数	4	3	2	6	4	3	4	3	4	0	33
金額 (百万円)	77.3	72.7	61.2	354.9	165.5	187	408.1	299	245	0	1870.7

※「工事（委託）台帳」による金額

表 5-2 舗装調査・設計・計画の件数と金額

年度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
件数	5	4	4	3	8	4	9	4	4	2	47
金額 (百万円)	11.1	6.8	9.3	8.2	26.9	31.4	50.5	14.3	41.2	15.7	215.4

※「工事（委託）台帳」による金額

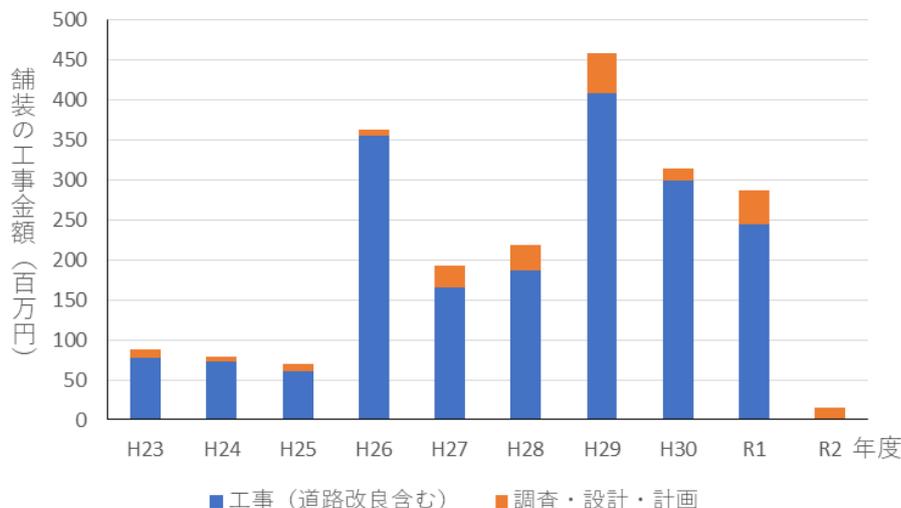


図 5-19 平成 23(2011)から令和 2(2020)年度における舗装管理費の推移

(2) 橋りょう

橋りょう管理に発生している費用は、点検・診断、計画、設計、工事に分けることができます。

調査は、平成23(2011)から令和2(2020)年度までの10年間で10件(0.9億円)を実施しています。平成29(2017)年度は、跨道橋・跨線橋の点検・診断を実施したため、通常より費用がかかっています(0.5億円)。

計画は、橋りょう長寿命化修繕計画策定を行い、平成26(2014)から平成29(2017)年度までに点検・診断を一巡したことにより、平成30(2018)年度に本計画の見直し(860万円)を実施しました。

耐震補強設計は、平成15(2003)年度から各年3橋程度、補修設計は、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき行っています。耐震・補修工事を実施する前年に設計を行っています。

耐震補強及び補修工事について、平成23(2011)から令和2(2020)年度までの10年間で15件(7.5億円)実施しています。令和元(2019)年度は、小島町歩道橋及び品川国領歩道橋撤去工事と飛田給スタジアム前歩道橋の橋面補修工事を行ったため、通常より費用がかかっています。

表 5-3 橋りょう工事件数と金額

年度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
件数	1	1	1	2	0	1	2	2	3	2	15
金額 (百万円)	19.4	18.5	7.5	46.8	0	47.5	137.9	146.3	280.7	48.8	753.4

※「工事(委託)台帳」による金額

表 5-4 橋りょう調査・設計・計画の件数と金額

年度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
件数	1	2	2	1	2	2	4	1	3	2	20
金額 (百万円)	5.0	8.9	9.3	3.2	11.4	11.7	67.5	8.6	22.6	15.7	163.9

※「工事(委託)台帳」による金額

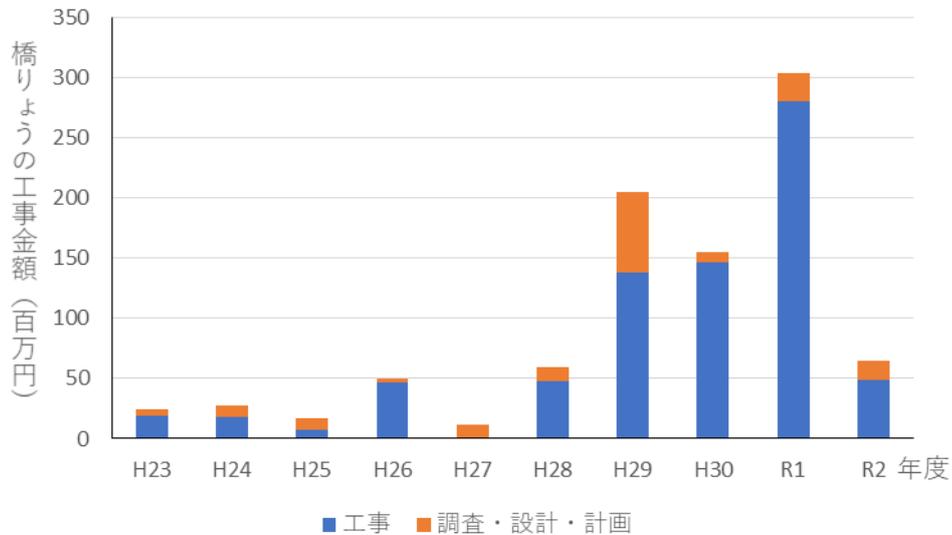


図 5-20 平成 23(2011)から令和 2(2020)年度における橋りょうの工事金額の推移

(3) 街路樹

直近5年間の市の街路樹に関する管理費用は年々高まっており、特に令和元(2019)年度は前年度と比較して急増しています。高騰した原因として、特に台風第15号による倒木被害の緊急対応の増加、樹木診断の結果、倒木の危険性のある樹木を伐採したことが考えられます。

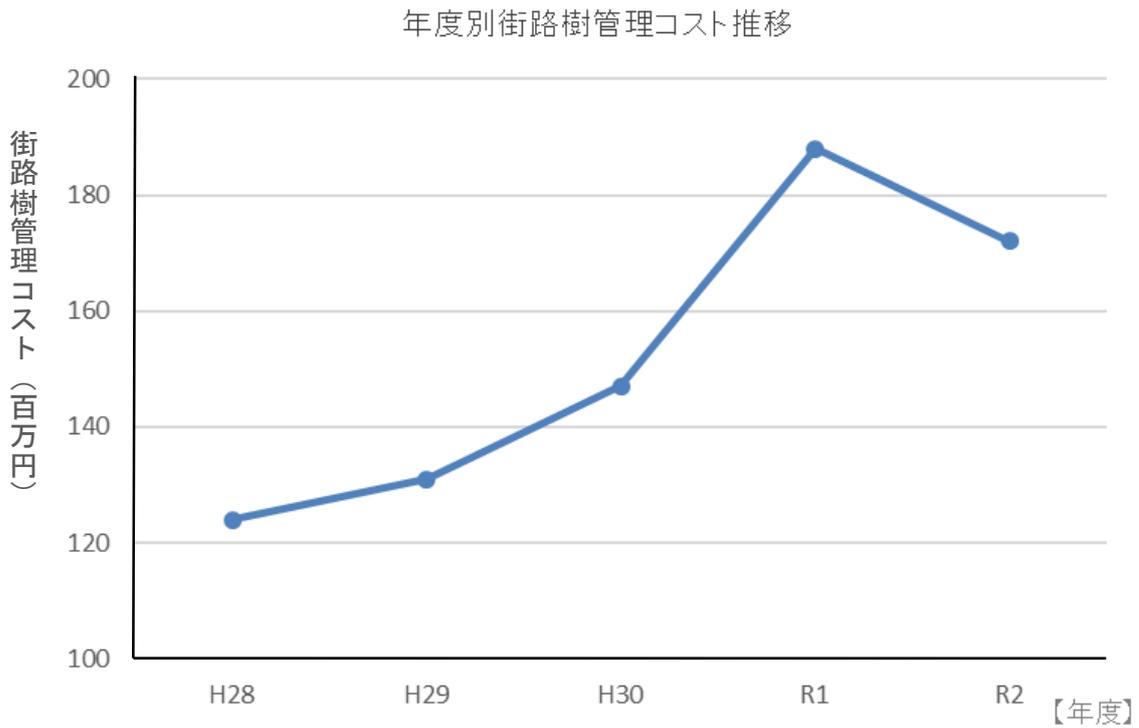


図 5-21 街路樹管理コストの総額と推移

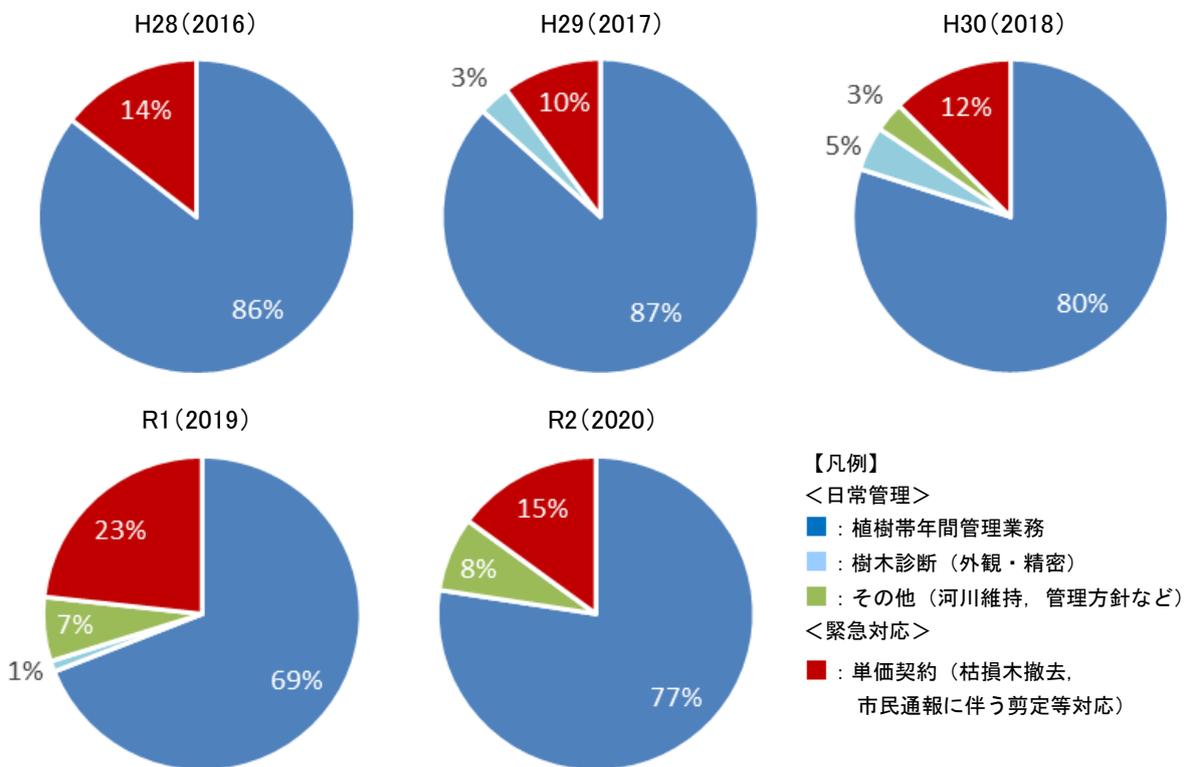


図 5-22 管理コストと内訳の分析

(4) 街路灯

街路灯の工事に対して発生している金額は、5年間の平均で1.3億円となっています。

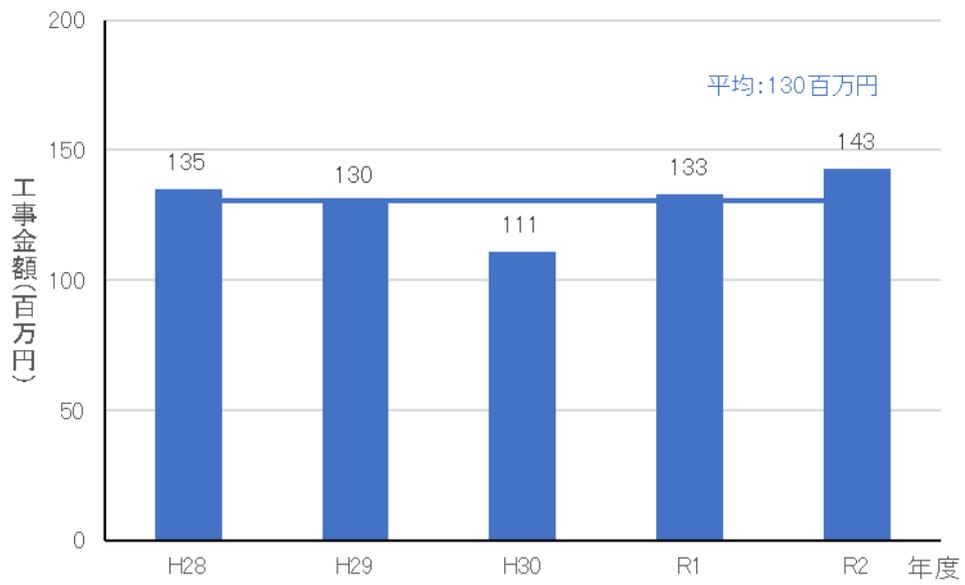


図 5-23 年度別工事金額の推移(街路灯)

(5) 道路土工構造物（擁壁）

擁壁の工事实績としては、平成 23（2011）と令和 2（2020）年度で 2 件の工事を実施しています。工事内容は、擁壁の補強工事が 2 件となっています。

工事金額は、平成 23（2011）年度が 0.3 億円、令和 2（2020）年度が 0.8 億円となっています。

表 5-5 工事一覧(道路土工構造物)

工事年度	工事件名	内容
H23（2011）	市道西 113 号線擁壁補強工事	擁壁補強
R2（2020）	市道西 111-4 号線擁壁補強工事	擁壁補強

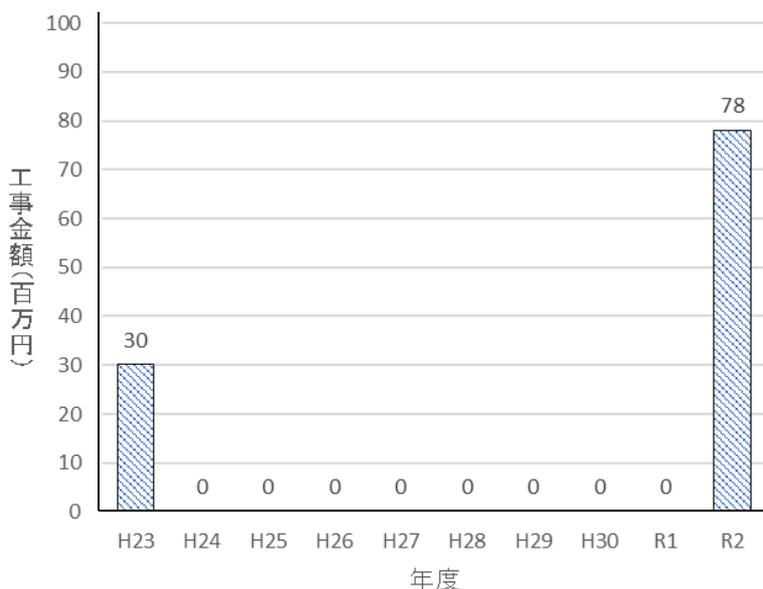


図 5-24 平成 23(2011)から令和 2(2020)年度における擁壁の工事金額の推移

(6) 交通安全施設

交通安全施設に対して発生している費用は、平均で1年あたり0.6億円となっており、令和元（2019）年度、令和2（2020）年度が0.7億円と最も高くなっています。

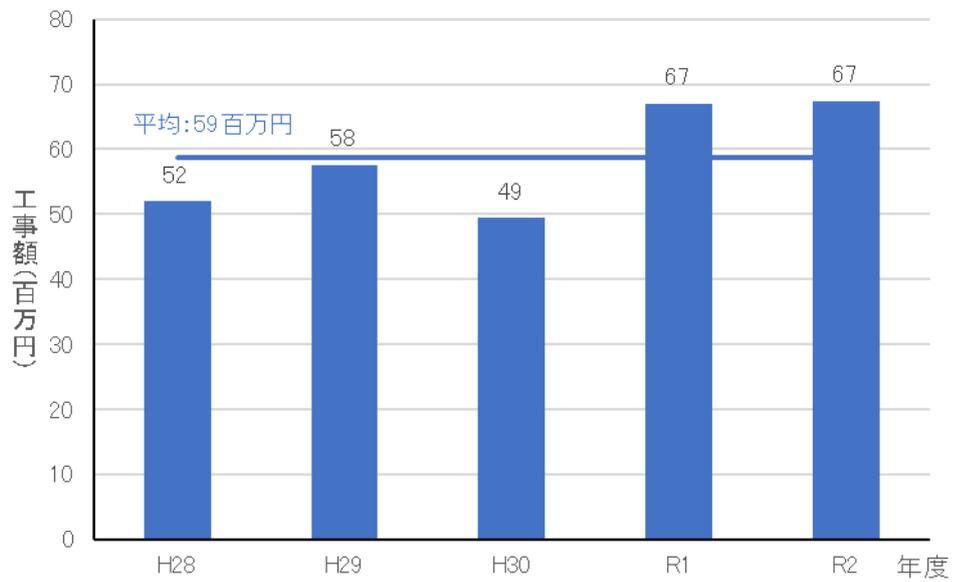


図 5-25 年度別工事金額の推移

